

田原市立田原福祉専門学校同窓会機関誌

たっぷく だより

No.19

編集発行 平成28年3月1日

田原福祉専門学校同窓会
会長 松原 宣子



「徳川家康の遺訓」

事務長 鵜飼 直行



田原福祉専門学校の事務長を拝命して一年が過ぎようとしています。この一年は、私自身にとっても介護について

いろいろ考えさせられた一年でした。高齢化社会は超高齢化へと進み介護ニーズも益々高まっているにも関わらず、介護福祉士を養成する専門学校への入学者は年々減少傾向にあります。

田原福祉専門学校のできることは、福祉に熱い情熱を持っている学生をいかに支え、励ましながら、心豊かな介護福祉士を養成することであり、介護の道に進んだ卒業生が迷い悩んだ時に、しっかりサポートしていただける学校でありたいと思っています。

「人の一生は、重荷を負ひて遠き道をゆくが如し。急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。心に望みおこらば困窮したる時を思ひ出すべし。堪忍は無事長久の基。怒りは敵と思へ。勝つ事ばかり知りて、負くることを知らざれば、害その身に至る。己を責めて人を責むるな。及ばざるは過ぎたるより勝れり。」

これは、徳川幕府二百六十年余りに渡る泰平の礎を築いた、徳川家康の遺訓です。

おおよその意味は、「人の一生というのは、重い荷物を背負って、遠い道を行くようなものである。急いではいけない。不自由は当たり前、人生とはこういうものだと思えば、今のつらい苦しい状態も当たり前に思えてくるはずだ。」というものです。

人生しっかり歩いていきたいものです。いつでも「たっぷく」に立ち寄ってください。



卒業生に聞く

聖隷クリストファー大学
社会福祉学部
社会福祉学科四年生
第十七期生
亀田英理氏

平成二十八年二月十六日、田原福祉専門学校講堂において、愛知県福祉人材センター主催の就職支援セミナーが開催されました。講師の一人として招かれた現役大学生の亀田さんに、本校から四年制大学に編入学された経緯や本校で学ぶ学生へのアドバイス等について伺いました。

講師、お疲れさまでした。

私なんか講師で良かったのかなあと思っていましたが、

現役学生の生の声を聞けたので、とても参考になったと思いますよ。これをきっかけに編入学を考えようとする学生がもっと出るかもしれませんね。そういう学生の参考にもなると思いますので、少しお話をお聞かせください。

いつ頃編入学をしようと思ったのですか？

私は、高校を卒業したら就職しようと考えていたのですが、高校の先生に田原福祉専門学校を紹介していただき、公立で学費も安いという事もあり、二年間しっかり勉強してから就職しようと進学を決めました。そして、たつぶくの二年生の夏ごろまでは普通に就活をしていましたが、二年生の終わりに亡くなった祖母を、その前の約半年間、家族

で介護をしている中で、学校で介護を勉強しているのに何もできない自分に、このまま就職して大丈夫なのかなあと疑問を持ちました。それに、祖母が亡くなる前に「高齢者が集まって話ができる場所があったら楽しかったのになあ」と言っていたことがあり、そういう場所を作りたいなあと思い始め、作るには介護の勉強だけではできないのではないかと思いました。それから、不登校や引きこもりの方たちの助けもしたいという気持ちもあり、もっと広く福祉について学びたいと思い、進学することに決めました。

三年生に編入できる大学は他にもあると思うけれど、聖隷クリストファー大学に決めた理由は？

たつぶくの夏休みの間、聖隷おぞら療育センターに友人とボランティアに行ったのですが、そこにクリストファー大学の学生も参加されていて、その方たちから大学の情報を聞いているうちに興味を持ったことと、その学生の方々にも好感が持てたのが、決め手でした。

編入学後、生活環境が大きく変わったと思いますが、すぐに慣れましたか？

私が編入学した年は、編入学生二人と学部の変更をした学生が三人い

て、授業もほとんど同じだったので、その五人で仲良くなり、行動する事が多く、困ったこともそんななありませんでした。

サークル活動はしなかったの？

入る余裕が無かったですね。夜九時までサークル活動の時間があるので、それから家に帰ると十一時になつてしまうので、できなかったんです。その代わりに大学にボランティアセンターがあって、ボランティア活動には参加していました。

先ほどのセミナーで学生からの質問に、四年間の授業を二年間で受けないといけないので大変ですと答えていたけれど、一日中授業で詰まっているって感じなの？

確かに免除科目もありますが、少ないと思います。たつぶくでは、現場がメインの授業ですが、大学では理論が多いと思います。入学当初は、一日中授業の日もありましたが、少しずつ減ってきて、自分の興味のある授業を受けることができるようになりました。

勉強は大変ですか？

私は、勉強するために進学したので、授業は面白いですね。初めから大学に入学すると、勉強よりも学生生活を楽しむ目的の学生が多いように、編入学生は真面目だねと言われる

ます。

編入学して、たつぶくの良さを感じたことはありませんか？

温かみと、教員と学生の距離が近いところがたつぶくの良さですね。大学は学生数が多いので、あまり感じられなかったかなあ。

そこが田原福祉専門学校の良いからね。それでは、編入学して感じたことはありますか？

幅広い勉強ができたところと、いろんな視点でいろんな方たちと学ぶことができたので、少しは成長できたとかなあと感じています。

就職先は決まっている？

はい、豊橋市出身なので、地元の豊橋市社会福祉事業会に就職が決まっています。

就職先を決めた理由は？

初めは、違う施設を考えていましたが、福祉事業会へ実習に行かせていただき、その後、ボランティア、そしてアルバイトをさせていたでいてる中で、この施設が私には合っていると思っただけで決め手でした。

高齢者施設への就職者が多い中で、障害者施設へ就職を希望した理由は？

たつぶく在学中から周りが高齢者に目を向けていく中で、四人で障害グループみたいなのを作り、障害

の奥の深さや面白さなどを話し合っていましたね。

四月から働くわけですが、亀田さんが目指す職員とは？

就職先には、実習、ボランティア、アルバイトと一年半ぐらい通っているわけですが、職員の方同士が、すごくいい感じでお互いにフォローさされていて、理想の職員関係かなと思っっているの、その中に入っていけたらなあと思っっています。それから、職員お一人おひとりから学ぶことが多く、信念を持ってもらえるので、その信念を受けながら自分で積み立てて、自分なりの信念を作りたいと思います。

編入学したことによって、貴重な勉強ができ、さらに自身の成長が出来た二年間だったのでしょね。就職



職してから、さらにチャレンジしてみたいことはありませんか？

今まで学んできたことは、高齢者のことが多かったので、知的障害児や療育、保育の勉強をしたいと思っています。

編入学を希望する学生にアドバイスをお願いします。

学べることの幅が広いので、自分の好きなことを見つけて勉強してもいいと思います。目的があつて編入学するのですが、その目的の授業以外にも学べる科目があり、その中で好きなものを見つけて勉強していくと視野が広がり、楽しくなると思います。

最後に同窓生や在校生に一言お願いします。

同窓生の方には、これからもご指導をお願いしたいです。在校生には、楽しむところは思いっきり楽しんでもらいたいです。そして、しっかりと勉強してもらいたいですね。と言っても現場に出ないと勉強の必要性は実感はわかないと思うので、私がお勧めするのは、ボランティア活動に多く参加するという事です。施設や地域によって色々な情報が得られるので、それによって視野も広がるし、進路を決める手助けにもなると思います。大学では授業としてボラ

ンティア活動に参加することがあつて、たつぶくでも取り入れたら良いと思います。計画的に大人数で参加するので施設も受入れ易いですし、学生も授業外だとアルバイトや勉強でなかなか参加できないことがあるので、とても良いことだと思います。

そうですね。授業なら自然に参加となるし、ボランティアに参加してマイナスになることは絶対ないからね。是非実行できるように検討します。今日は有難うございました。こちらこそ有難うございました。



慣れない講師役でお疲れのところ、学生にも学校にも大変参考になるお話を聞きすることができました。これからの一層の活躍を期待しています。

公開講座

平成二十七年十一月十四日(土)

「身体にやさしい介助法」

～介助者・被介助者双方が
快適な介護をめざして～

講師：理学療法士・介護福祉士
東京富士大学特別講師

岡田 慎一郎 氏

本年度の公開講座は、古武術介護の提唱者であられる岡田慎一郎氏をお招きして実施しました。「古武術介護」とは、岡田氏が介護施設で働きながら試行錯誤の末に考案した、古武術の動きを取入れた介助術で、



腰を痛めないという評判になっていくものです。また、警察署や消防署、自衛隊からも講演や講習依頼が多数あるなど、腕力に頼

らない身体の使い方が介護業界以外からも注目され、広く認められています。今回の公開講座でも、一般の方や施設職員の方以外に消防署職員の方の参加も見られました。

講演では、まず介助するための合理的な身体の動きを引き出すための身体づくりとして①下半身は介護をする際の土台の役割、②上半身は非介助者と密着する接点の役割、③体幹は下半身と上半身をつないで運動性を高める役割という三つのポイントが示され、腕力や腹筋を鍛えても全身の連動性が良くなければ腰痛につながると話されました。

そして、介護技術の三原則として、①接点を高める「手のひら返し」として、背中と腕の使い方、②骨盤位置のコントロールとして、自分の骨盤を被介助者の骨盤よりも下の位置することによる力任せではない介助法、③一体化として 肩甲骨と骨盤の動きの重要性について教えていた

いただきました。

また、岡田氏がこれまでの実践で得たデータや科学的根拠を示した上で、わかりやすく実演していただいたことにより、参加者は一層理解を深めた様子でした。

後半では、介護技術の三原則を駆使して様々な介助術が紹介されました。冒頭、「手のひら返し」で大柄な男性を持ち上げた時には、参加者からどよめきの声が沸き起こりました。

その後、床に寝た状態の方を立てる方法や床に座った状態の被介助者をベッドや車椅子へ移乗する方法などを教えていただきました。

講座終了後、岡田氏のご好意により、個人的な質問、相談の時間が設けられました。一人ひとりの日ごろの苦労や悩みについて、岡田氏が他の参加者をモデルに、実演によって応える形式で行われ、十数名の相談



者に対して、一時間以上にわたり熱心に指導していただきました。

参加者からは、「とても参考になった」、「古武術介護のDVDを購入して実践に活かせるように勉強したい」、「実演の時間をもっと多く取って欲しい」、「継続してこの講演を行って欲しい」などの意見が寄せられ、腰痛を始め、現場における介助の大変さが切実に伝わってきました。

今回の公開講座は創立二十周年記念行事と併せて行う予定です。



新役員になって

第十八期生 今井 貴雅

今年度から役員として同窓会活動に参加させていただくようになり、多くの先輩方との出会いや行事を通じて、良い経験をさせていただいています。

私は豊橋市にある赤岩荘で高齢の利用者様の支援をしています。同窓会行事などで年代や分野の違う諸先輩方と出会い、職場では得られないお話しや考え方を聞かせていただく機会が増えました。また、仕事上の悩みに対しても様々な観点からの確なアドバイスをいただくなど、仕事に活かすことができるとも助かっています。

同窓会行事には総会・総会後の芋植え・芋の収穫・たつぷく祭への参加など楽しい催しがあり、私も可能な限り参加させていただいています。芋植えや収穫の時には、同窓生以外に地域の方々との交流もあり、収穫後のパーベキューも楽しみの一つです。校長先生に作っていただいたとん汁はとてもおいしく、さらに今年は松原会長からお肉の差し入れもたくさんあり、大満足でした。たつぷく祭では、同窓生で調理し



一番左が今井さん

た大学いもやうどんなどの模擬店を出店しています。私は販売を担当させていただきました。昨年は学生として参加していたのですが、今年は少し違う気分と視点から参加することができました。遊びに来たOBの方々や同期生、在校生などの交流もあり、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

これからも同窓会活動を盛り上げていくために、精一杯頑張りたいと思っています。

携帯電話（または自宅パソコン）のアドレス登録のお願い

学校行事・同窓会行事等につきまして田原福祉専門学校メール配信システムでご案内いたしますので、皆さまのメールアドレスを下記の方法で登録していただきますようお願いいたします。

一斉メール配信のシステムですが、卒業期別毎に登録できますので、同期会の開催通知を配信する場合など、ご連絡いただければ協力させていただきます。皆さん登録のうえ、是非ご活用ください。

【田原福祉専門学校メール配信システム登録方法】

①次のアドレスに空メールを送ります。(QRコードから読み取りができます)

宛先：tahara.tchs@fofa.jp

件名：(記述なし)

本文：(記述なし)

②登録案内メールが届きます。(案内に従って操作してください)

③完了メールが届きます。

※②の登録案内メールが届かない場合は、「fofa.jp」を受信許可ドメインに設定して下さい。



【田原福祉専門学校メール配信システム解除方法】

①次のアドレスに空メールを送ります。(QRコードから読み取りができます)

宛先：tahara.tchskaijo@fofa.jp

②解除完了メールが届きます。(案内に従って操作してください)



● 同窓会活動 ●

同窓会総会

平成二十七年年度田原市立田原福祉専門学校同窓会総会を五月二十四日（土）午前十時から、本校講堂で開催しました。

総会では提案された予算、決算、新役員追加などの議案がすべて承認されました。

総会終了後は、お借りしている学生寮の隣の畑にサツマイモ苗の植え



付けを行いました。これは、たつぷく祭の模擬店で大学いもなどを販売するための準備です。前日に地元の方々のご協力で畝作りとマルチの設置を行い、当日も地元の方々のご指導のもと、植付けをしました。昨年はイモも小さく収穫量も少なかったため、今年は三種類のイモを植えて、でき具合を見てみることにしました。

作業終了後は学校に戻り、在校生と同窓生が協力して作った料理を囲んで食事会を行いました。初めて参加された方や、お子様連れで参加された方もいて、とてもにぎやかで楽しい時間を過ごすことができました。

収穫祭

平成二十七年十月四日（日）十時三十分から、五月の総会後に植付けしたサツマイモを収穫しました。

収穫二日前に地元の方々のご協力で、イモのツル切りとマルチの撤去をしていただいたので、当日は順調に作業を終え、昨年よりも大きなイモを大量に収穫できました。

作業終了後は、地元の方々への感謝の気持ちと参加者への慰労を兼ねてパーベキューを行いました。松原同窓会会長からのお肉の差し入れと、山田校長手づくりの特製とん汁

もあり、作業の疲れも吹っ飛び、参加者一同、大満足の様子でした。



たつぷく祭

平成二十七年十月十六日（金）十七日（土）の両日、「笑顔のもとには福来る」というテーマのもと、たつぷく祭が開催されました。

同窓会も祭を盛り上げるため、模擬店を出展しました。毎年恒例の「大学いも」の他に、昨年からは始め大好評だった「いも天入りうどん」と、

初挑戦の「いも娘」の販売を行いました。今年は同窓生の参加者が少なかったことと、アイスクリームを使用した「いも娘」の調理に苦労したため、例年以上に大変でしたが、昨年を上回る売上げで、二日間を楽しく笑顔で乗り切ることができました。来年度も新しい商品に挑戦し、たつぷく祭を盛り上げていこうと考えています。多くの同窓生の参加をお待ちしています。



学校だより

● 新任職員 ●



専任教員
鈴木隆弘

四月から田原福祉専門学校に勤務するようになって、早いもので一年が経とうとしています。本当に右も左もわからず、あつという間に月日が過ぎてしまったという感じがします。

私は、八期生としてこの学校に入学しました。それから十二年が経ちましたが、当時と変わらず、温もりと親しみのある学校だなという印象を受けました。

この学校で教員をする上での目標は、利用者さんを笑顔にすることができ、介護福祉士を育てることです。笑顔は、人を幸せにします。そんな笑顔にあふれた職場なら、辛いことがあっても乗り越えられるのではないかと思います。私も、そのようにして乗り越えてきました。

まだまだ、教員としては一年生です。至らないところも多くあります。早く信頼される教員になれるように日々勉強し、努力を重ねていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

● 退任職員 ●



前事務長
河合郁朋

昨年の三月末に田原市役所を定年退職してから、早いもので一年が過ぎようとしています。四十二年間の公務員生活の最後の三年間が田原福祉専門学校での勤務となりました。田原福祉専門学校には、市役所では経験したことのない業務もあり、戸惑いの連続でした。特に、学生募集では、私が就任してからは、募集定員の四十人を確保することができませんでした。少子化による高校生の減少、景気の回復に伴う製造業等からの求人増加、介護職に対するイメージの悪さなどから、介護職を目指す高校生が少なくなってきたことを身にしみて感じた三年間でした。

た。しかし、「新入生歓迎会」、「たつぷく祭」などの行事は、すべてが新鮮で、若さ溢れるエネルギーを肌で感じることができました。

「たつぷく」に入学し、勉強、実習を重ねていくうちに、成長していく学生たちの姿を見てみると、「今後、福祉・介護の職場は、この学生たちが担っていくてくれる。」と頼もしく思っていました。介護の世界は厳しいと言われていますが、立派な介護福祉士になってくれるようになっていきます。

現在、私は渥美半島観光ビューロ―で、田原市への観光客の誘客活動を行っています。会った人から「若いですね。」と言われることがあります。そんな時は、「今までの職場が田原福祉専門学校で、若い学生たちからエネルギーを貰っていたので。」と言っていきます。

田原市を離れて生活されている卒業生の皆さん。太平洋岸の砂浜、伊良湖岬灯台、蔵王山展望台からの景色、四季折々の花など、どこにも負けない美しい自然、新鮮でおいしい食材、そして、大正ロマンあふれる校舎の「たつぷく」がある渥美半島に、学生時代の思い出を掘り起こしに来てください。よろしくお願ひします。

同窓会総会を開催します

平成28年5月15日(日)午前10時～

田原福祉専門学校 講堂にて

★総会終了後に、さつまいもの植え付けを実施します。
皆様のご参加をお待ちしています。★



たつぷく ティールーム



今回は、たつぷく祭と同窓会総会等の開催に協力していただいた卒業生たちと、反省会を兼ねてお疲れさま会を開催し、介護現場の情報交換を行いました。

① たつぷくを卒業して介護現場で働いていると思うけれど、仕事を続けていられるモチベーションや気分転換の方法を教えてください。
 ② 私は単純だから出勤して利用者の方に「おはよう」って言ってもらえると今日も一日頑張ろうと思える。



③ 私は家に帰ったら仕事のこと忘れようとしている。

④ 切り替えは必要だよな。

⑤ 日ごろ当たりのキツイ利用者さんが優しい態度をとってくれた時には、受入れてくれたのかなって思っ、次に仕事に行くモチベーションになるなあ。

⑥ 認知症や障害のある方たちって、自分の味方と敵を本能で見分ける力があるような気がするね。だから本音で向き合えないと心を閉めてもらえないと思う。

⑦ 入所のおばあちゃんと話しをしているだけで癒される気分になる。

⑧ それに楽しいよね。なぜなのかバケツを被っていたり、日ごろ動けない方が、こんなことができたのって驚かされたりして、日々楽しいな。

⑨ 施設の利用者に AKB の大島優子のファンがいるんですが、本人に会う機会がないので、合成写真を作って部屋に飾ってあげたら、すごく気に入ってくれました。ちょうどその日は自宅に帰る日だったんだけど、「今日は帰りたくない」って言い出して少し困ったことになったんですが、すごく喜んでくれて、そんな姿を見ると、また何かしてあげられたらという気持ちになります。

⑩ 私は友達や先輩に愚痴や相談ごとなどの話を聞いてもらって発散しています。

⑪ とっても良いことだと思っね。先輩たちや同僚に話を聞いてもらっ

て、「そっだよな」や「頑張ったね」とか言ってもらえると、また頑張ろうって思えるからね。一人で抱えていたら駄目だよ。沈んだ顔をしていたら先輩たちが「大丈夫」って声をかけてこない？

⑫ 聞いてくれないよねえ。(笑)

⑬ えっ、そうなの。じゃあ、あなたたちは聞く先輩になつてあげてね。

⑭ 聞くだけは聞いてますよ。本当に聞くだけでも(笑)

⑮ それだけでも大事なことじゃないかなあ。あとは、アドバイスをしてあげられると良いよね。困りごとなどで、すぐ改善できることは改



仲よし13期生

善してあげて、施設で考えないといけないことは上司に提言できる職員になつて欲しい。

⑯ 同僚たちと「こんなことができたら良いねえ」、「ここは改善が必要だよな」と話しはすることはあっても、提言まではできないね。

⑰ それでは良い職場にはならないから、実現するにはどうするかを考えて実行する職員になつて欲しい。

⑱ 提言したとしても上司が「そんなことしても駄目だよ」って言うって結局何も変わらないってことがある。

⑲ その粘り強く、駄目な理由を聞いて、その理由を少しずつ解消し、実行できるようにすることが必要だよ。いつもできない、できないって言うてるばかりじゃあ駄目だと思っ。どうしたらできるかを考えて仕事をしてると職場環境は変わってくると思うから、意識しながら頑張つてください。

今回の参加者は就職後五年から七年目の職員が多かったため、職場の柱である職員の在り方などの話題が中心となり、とても参考になった様子でした。

- オナー
- 卒業生
- 松原宣子 西野優子
- 岡 達也 中神祥次
- 高橋昌子 荒木康睦
- 佐藤 涉 小宮未聖
- 近藤奈見 大原 徹
- 伊奈見和子